



僕がソレを見つけたのは  
無縁塚を散策していた  
時のこと——



雨ざらしになっていた  
はずなのにその刃物は  
サビ一つなく……

刃も柄も見慣れない金属で  
作られており、一目で  
外界の品と分かった——

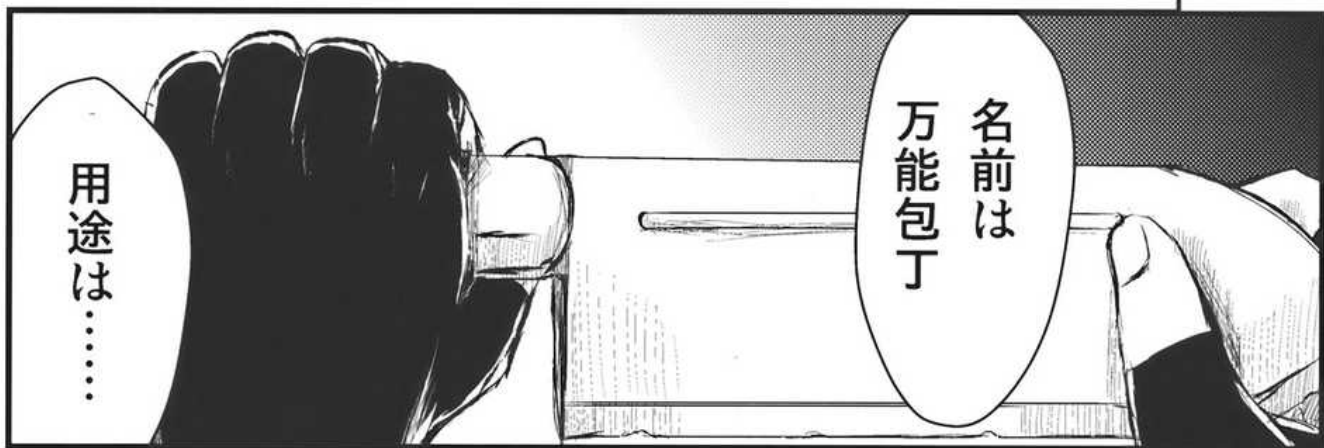
外観、刃渡りからして  
包丁に相違ないだろう  
そして珍しい品だ



幸いながら、その手の刃物を  
欲しがる得意先も幾つかある  
僕は値段を考えながら  
ソレを拾い上げて——

名前は  
万能包丁

用途は……



物のいみじき話





おい香霖?  
店ほっといて…

いったい何して  
遊んでるんだ?

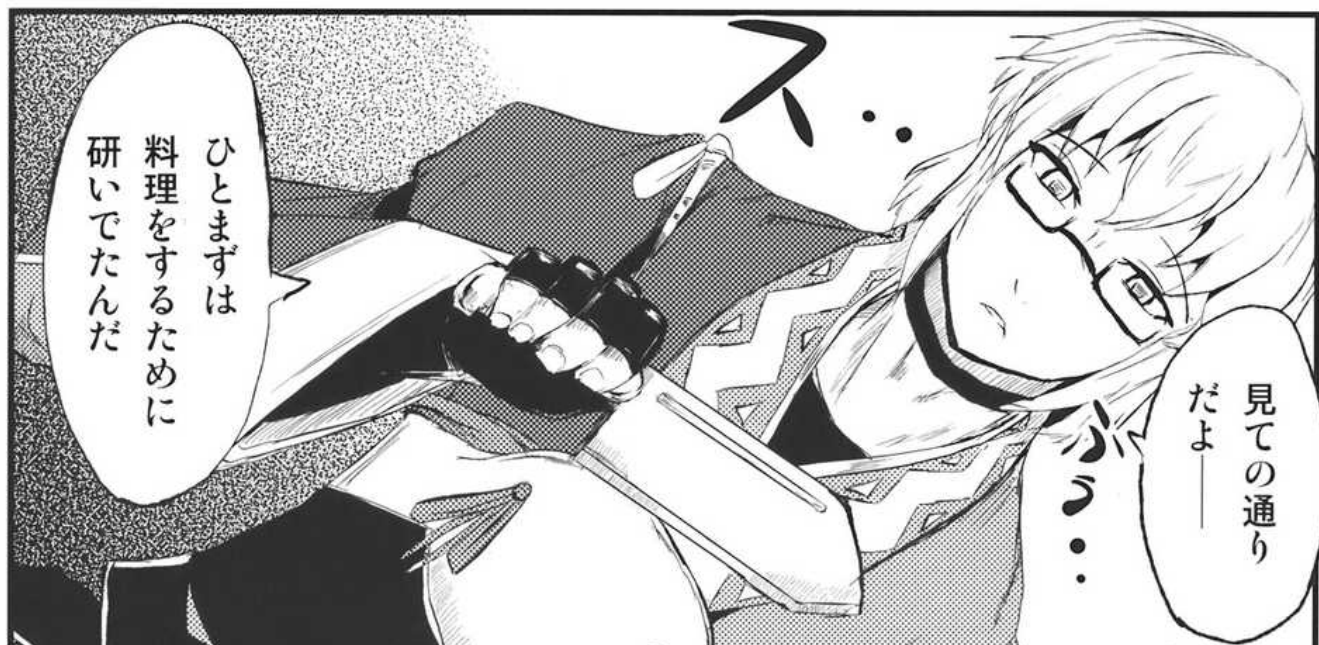
……ん?  
なんだ魔理沙か



研ぎ師でも  
するつもりか?

包丁に砥石か  
なんだそりや

しよ  
しよ



ひとまずは  
料理をするために  
研いでたんだ

見ての通り  
だよ——



ひとまずは  
だつて？

ひょん  
ひょん



よっ  
まるで他の目的が  
あるって

ほう  
言ってる様に  
聞こえるぜ？

ほう  
よく見せて  
みるよ？



やれやれ……  
この包丁の  
用途だけどな

今感じ取れるのは  
「殺人用」なんだ



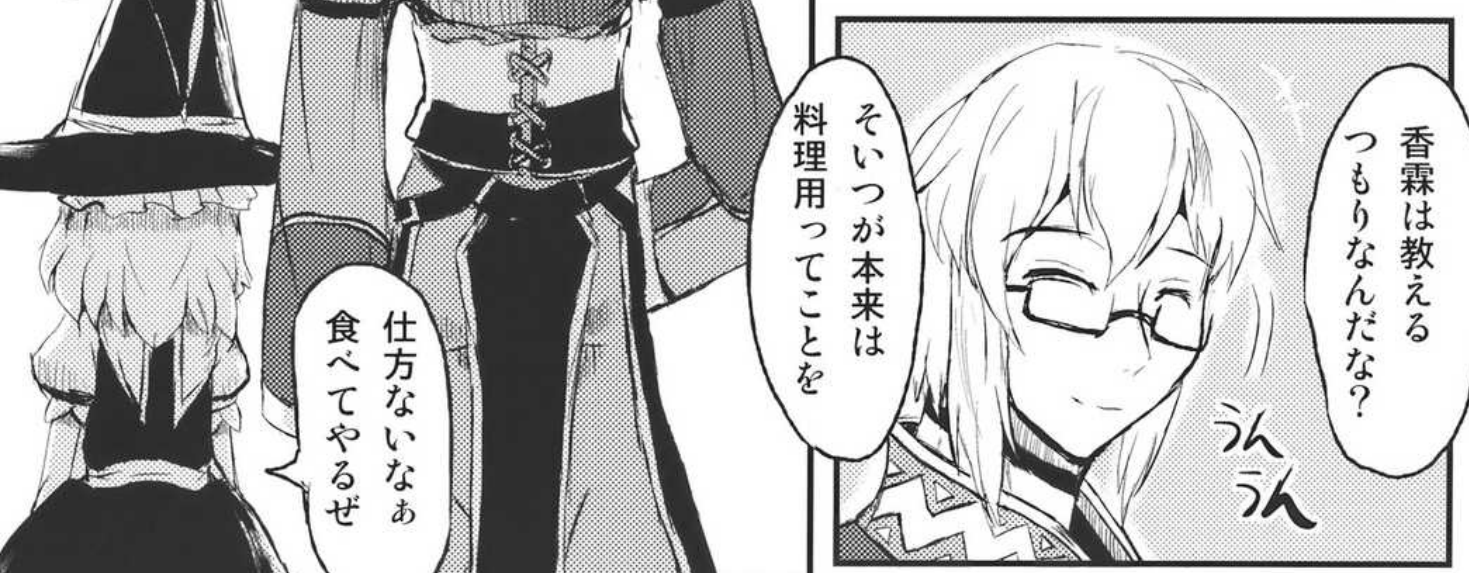
不用意に触ると  
魔理沙

え……

お……おい

びく

怪我だけじゃ  
済まなくなるぞ



それから数日間  
使ってみたわけ  
なのだが……

まだ殺人用か  
……やれやれ

随分頑固な  
包丁だな……

いざとなれば霊夢に  
頼む必要があるかも  
しれない……

ああ見えても霊夢は  
有能な巫女なのだ。  
ただし、タダというわけ  
にはいかないのが辛い。

まあ――

ゆっくり  
やればいいか



今日は客が  
来ればいいんだが



ま、期待は  
しないでおこらう

十二人殺しか  
ずいぶん…



外の世界は  
物騒だな…



お、見えてきた  
あれですか？

こりやすげえ  
まるで



ゴミ捨て場

いやそりゃ  
ひでえよ

おや、客か  
珍しいな…

やる気の  
なさが…

いらっしやい  
ま

イ イ イ イ







木津だ——この顔と  
名字で「キツネさん」

里で金物一揃えを扱ってる  
アンタの……言うなれば  
ご同類だよ

阿礼様とはたまたま  
目的が合ったんでな  
一緒に来させて貰った

なるほど  
僕の商売を

参考にするために  
来たと言うことか  
それは正解だ

それはありえ  
ませんね

なにを基準にして  
考えてもキツネさん  
の店の方が

ここより何十倍も  
繁盛してますし  
間違いなく貴方の方が  
勉強しに行くべきでは？



で…何か欲しい物でもあるのかい？

いや、適当に見てるからいいよ

好きにイチャついてくれ



反論したいならどうぞ

叩きつぶしますけど

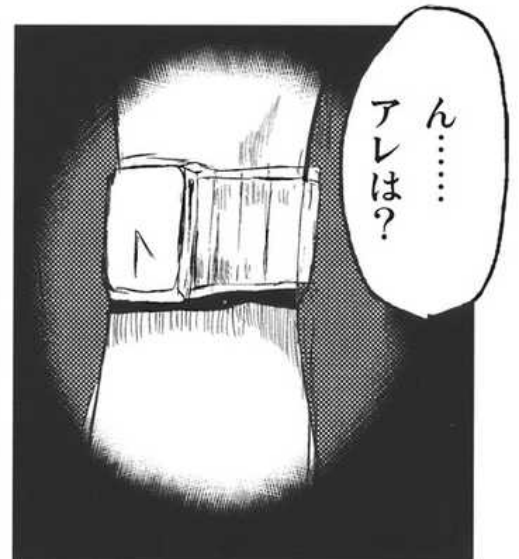
最悪の性格だよないつも通りに

ふう…



間違いなら悪いが

もしかして君は



ん…アレは？



ああ…

PSP

ん…ああそうだよ

俺は

こいつはなつかしいな…

「外」から来たんだ



どうかねえ…  
どれも古い品  
だからね……

それより  
そっちの……



なるほど  
ならばどうだい？

君からすれば  
宝の山じゃないかな？



ほっとかれて凄い  
不機嫌な阿礼様を

どうにかした方が  
いいんじゃないかい？

話は終わりましたか  
この駄眼鏡……



お待たせしました  
……阿求？

何を怒って……

別に怒って  
ませんよ？

買い物しに来た  
客を放置してる  
店主に文句も言わず

黙って待ってる  
自分の人の良さに  
呆れているだけで



そうしてしばらくの間  
彼女と商売の話が  
始まった……



殆ど駄目出し祭りに  
近いため凹みそうに  
なったが

そんな中、阿求が  
拾い上げた物があった

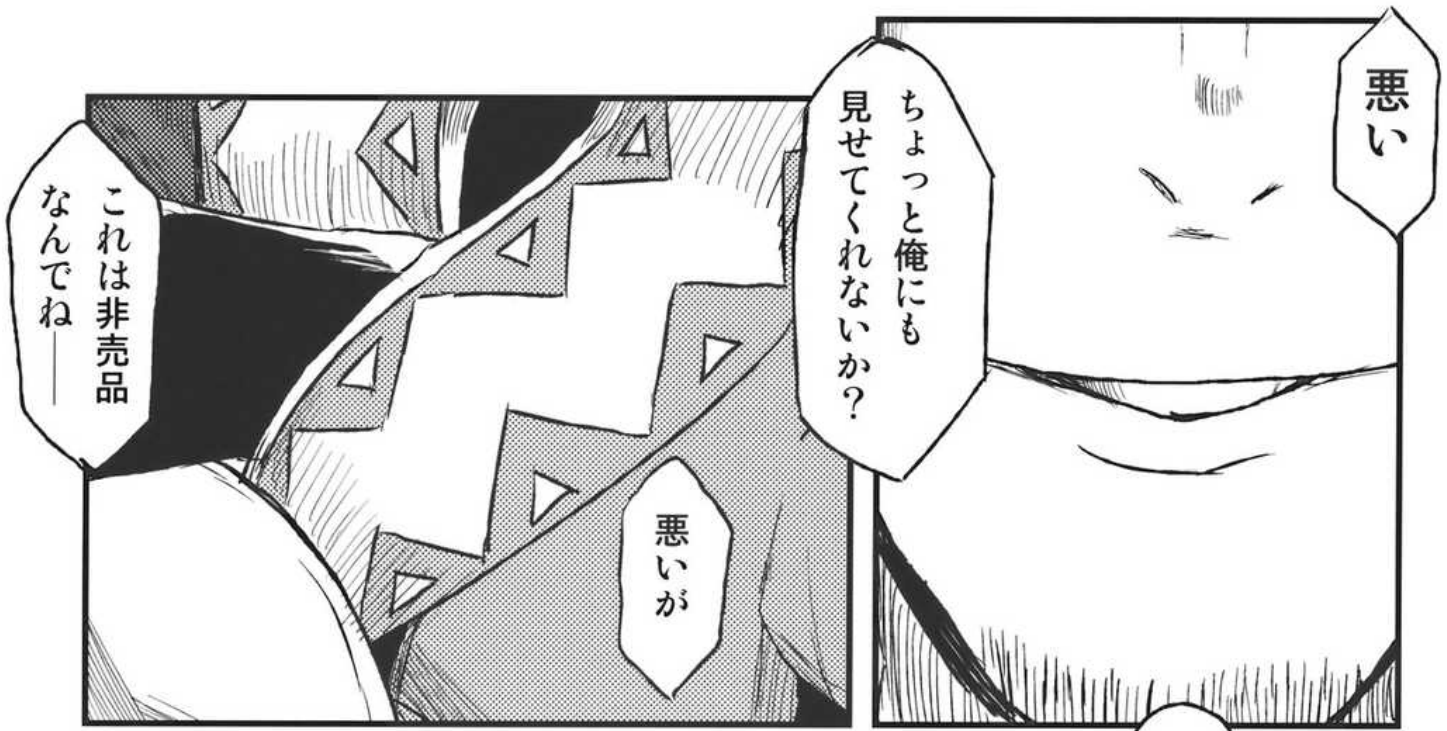


見たところ包丁の  
ようですが……

ところで  
これは何です？

——そう、例の  
殺人包丁である





悪い

ちよつと俺にも  
見せてくれないか？

悪いが

これは非売品  
なんでね



まあそう  
言わずに

いいじゃないか  
見るだけなんだし



な、この通り

えっ？  
!!

どうしてもそいつが  
見たくてたまんねえんだ

ス...







阿求を離してやって  
くれないか？

冷静で合理的  
だなアンタ

それに両手が  
ふさがっていたら  
受け取れないだろう

いいぜ、実際  
アンタの言うとおりで



早くこっちへ

阿求

ああ



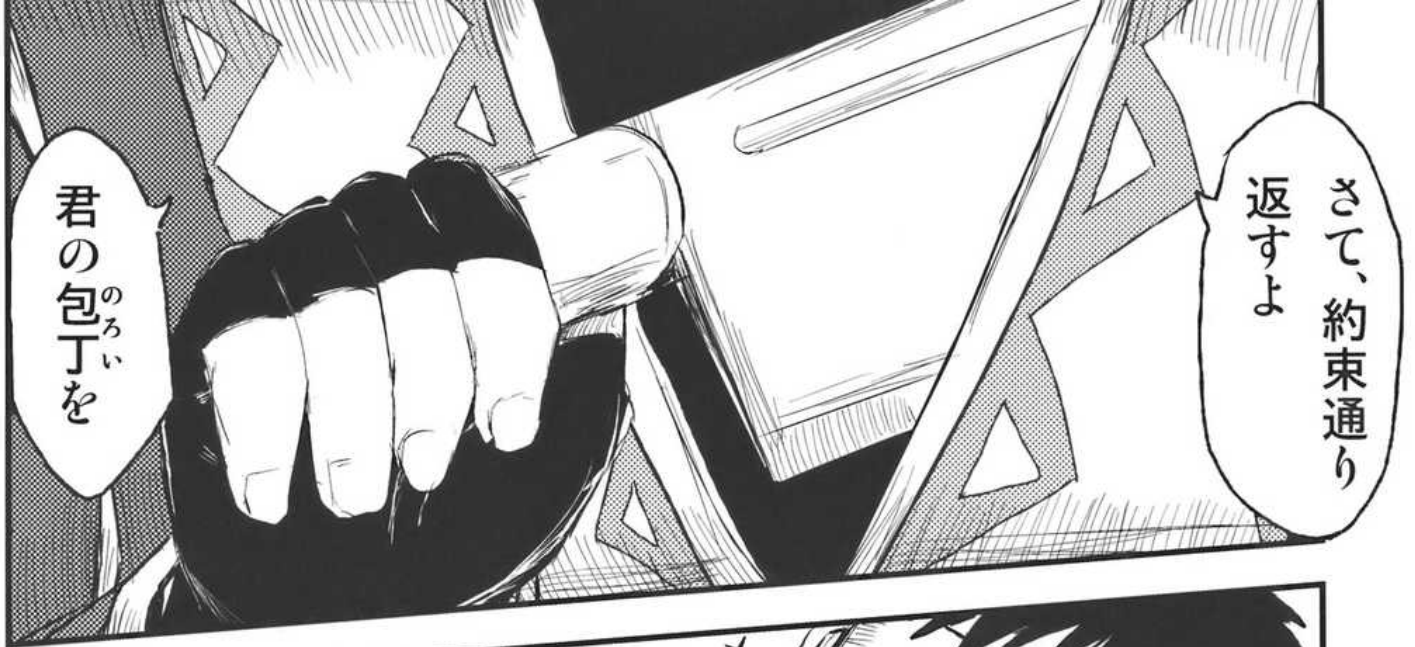
ほら  
これでいいか？



ガッ  
ばっ

阿求

巻き込んで  
すまないな



さて、約束通り  
返すよ

君の包丁を



どうも  
ありがとう

アンタ意外に  
素直だね  
良いことだぜ

ニョッ



見ない方が  
いいよ

え…っ  
な…何を!?




無駄なことは  
したくなくてね  
それより阿求…


え…?



いい判断  
してんな!!!



そうだね  
僕もそう思う



おいおい

そりや無茶だろ



そりや  
そうだな

痛くねえ  
のかね、アンタ



そうでもない

心臓を  
刺されるより  
ずっとマシだ



僕の心配はありがたいが  
先ずは自分の

心配をした方が  
良いと思うよ

肉と骨、両方とも  
裂かれたか

流石持ち主だな  
たかが包丁でこんな  
切れ味を出せるとは



吹くなよ  
色男

今のアンタに  
何が出来るんだ？  
荷物を抱えたままで

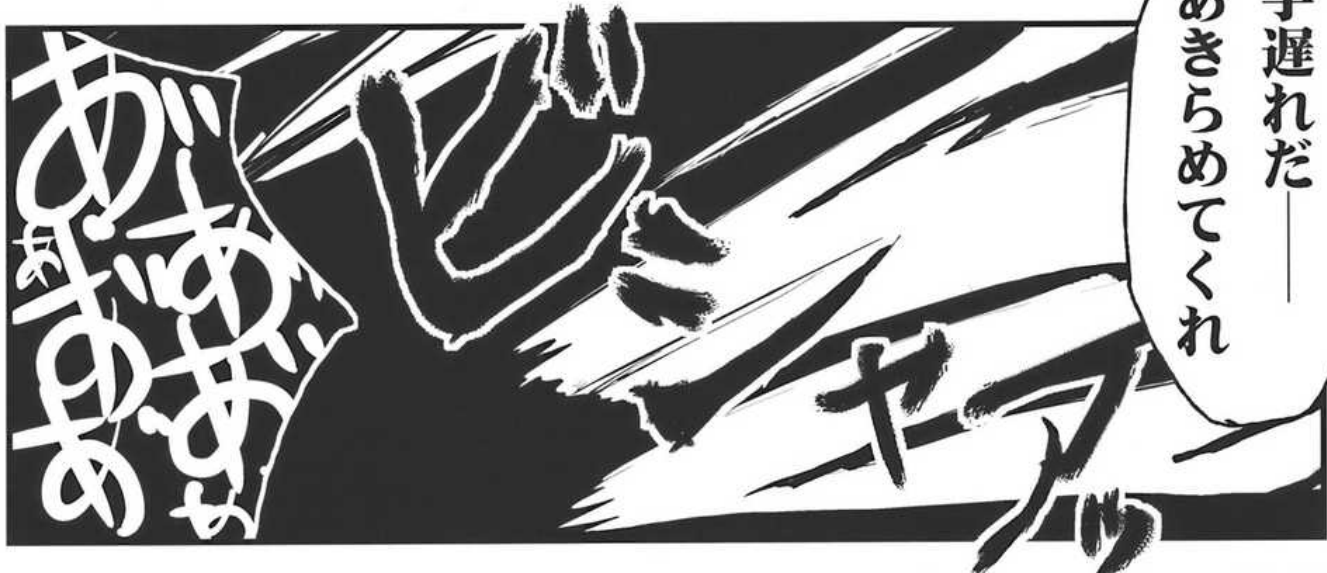


僕は何もしないさ  
もう抵抗する必要もない

手を見てみる木津  
その包丁はもう

完全に化けた





手遅れだ  
あきらめてくれ



中の始末が済んだら  
今回の件は説明しに行く

……それでいいかい？

災難だったね  
もう、目を開けて良い

悪いがこのまますぐ  
里まで帰ってくれ

そう、こういう結果が  
出るのは最初から  
わかっていただけだ



なるべくならば  
避けたかったが：  
やはりこうなって  
しまったのだった

後日僕は、稗田家に  
説明に向かった

あれは要するに  
復讐だったんだ  
包丁のね

阿求の首には  
包帯が巻かれており

復讐って…  
物がですか？

ああ、物が  
だよ

だが互いに傷には  
一切触れなかった

とてもですが  
信じられません

キツネさんが  
急にああなった  
のも説明が

じゃ、これを見てくれ  
外の世界の新聞だ  
それですぐにわかるよ







キツネさん……  
なんですか？



これは……

え……



連続通り魔  
殺人事件——  
凶器は包丁を使用

木津容疑者は  
逮捕後に『蒸発』  
したそうだ



住みにくい  
世の中だよな



ここ禁煙です  
吸うつもりなら

外で吸ってください  
本が傷みます



肩身が狭い  
思いたよ

最近はどこも  
禁煙ばかりだ

包丁はそもそも料理をする物

人殺しの道具じゃないんだ

例え製法は刀と同じでもね

ふっ

元来の使い方を無視し在り方を歪め続けると物だって恨む

そして、さらに人の恨みも重なる十二人殺しだったか

血肉と恨みが重なりあれは

急速に祟りを持った忌物——付喪神になりかけていたんだ

カッ

僕はそれを『祓う』つもりで研ぎ

在り方を変えようとしていたんだが……

しかし、それは無駄だった

包丁は復讐相手に出会ってしまった



そして全ては  
終わったんだ

物の復讐も  
木津の人生も



あのあと包丁も死んで  
鉄の塊になったよ

生きる理由が  
なくなったからね



僕の無駄な  
努力も——ね



話せることは  
そのぐらいだね

木津の死は  
君の所為じゃない

強いて言えば  
彼の罪に対して  
罰が当たったんだ



だいたいわかりました  
里の人には「神隠し」に  
あってしまった

よいしょと

と説明して  
おきましよう  
外界人でしたしね



ところでこの後  
何か予定は  
ありますか？

……ん？  
ああ、そうだな



ちよつと墓参り  
でもしてこようと  
思っているよ

神隠しにあった  
無縁仏と無縁物の  
墓のね——

生半可に忌物に  
手を出すべきではない  
君も気をつけることだ  
例え面白そうな  
ものであっても

そうして僕は損して  
教訓を一つ得た。つまり  
餅は餅屋に任せろ、という  
ごく当たり前のことだった

## あとかき

初めましての方は初めまして  
何度かお読みいただいている方は  
いつもありがとうございます！

さて、そんなわけで今回は荒んだ  
お話の展開と相成りました『物忌話』  
でございました。

阿求さんとイチャイチャする  
お話だと思った方申し訳ありません。  
どうも二人が絡むとなんかお話が  
重たくなってしまいう様で御座います。

お楽しみ頂ければ幸いなのですが、  
ビターが苦手な方には申し訳ない。

次アタリでどうにか明るくわくわく  
バイオレンスなものでも作って  
解消したく思いますのでどうか  
よろしく願いいたします。

それでは今回はこの辺で。  
また次回の作品にてお会いしましょう  
したらな！！

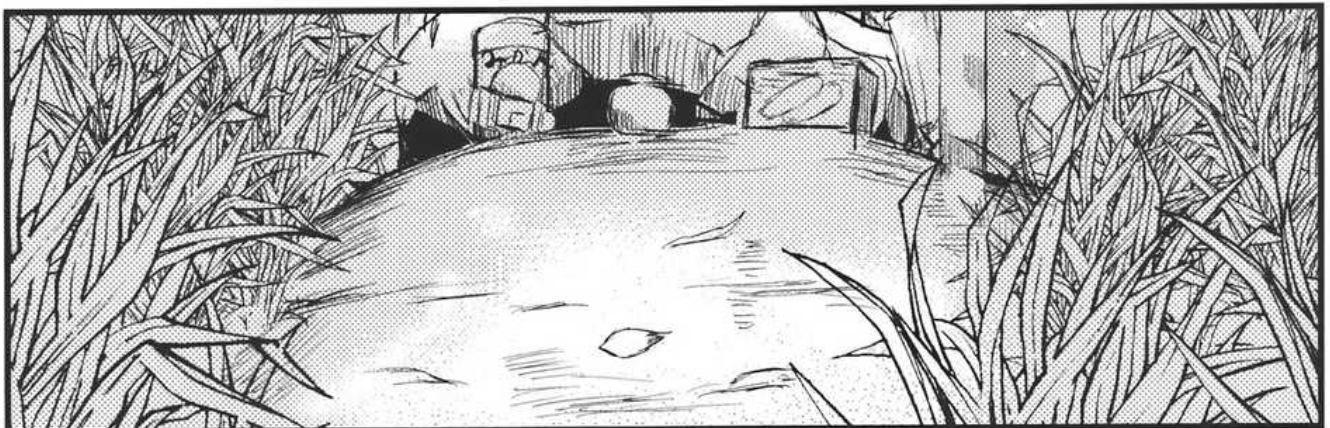
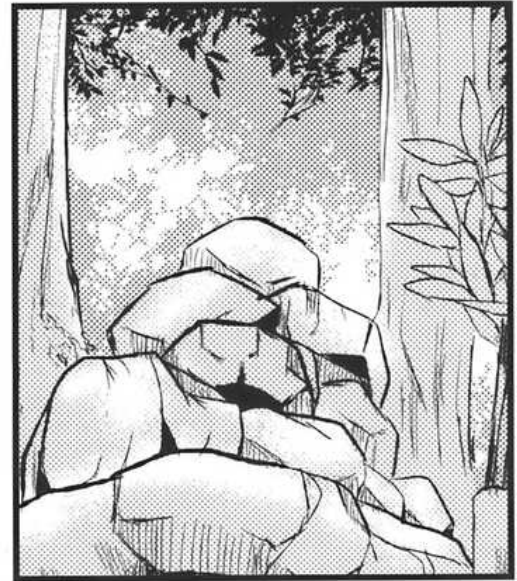
矢本堂落書市

HP:<http://www2.tok2.com/home/yamoto/>

mail:yamoto84@hotmail.com

初版発行:2010/8/14初版発行

印刷:(有)丸正インキ様



東方Project fanbook

Present by 矢本堂落書市

